

先日、我が家のオープンハウスがありました。スタッフの皆さんが
私たちのことを考えて心をこめて作って下さったので、私たちらしい
200%満足のいく家になりました。その予想以上の出来栄に
感無量です。そこで、私たちがなぜこんなにステキなマイホームを
手に入れることができたのか、つまり、どうして安建さんでマイホームを
建てようと思ったのかを、改めて振り返ってみたいと思います。

安建さんのココが好き

① 外観がとにかくカッコイイ ✨

今まで20回以上も見学会に参加させてもらって、どの家も本当に
ステキでカッコイイのに感動しました。外観のタイプもいろいろあって、
施工例を眺めているだけでも楽しいのは、安建さんこだわりの
本物の輸入住宅だからこそだと思います。自分たちならどんな
家になるのかな、と、夢がどんどんふくらみました。

② 内装がとにかくステキ ✨

安建さんで初めてドライウォールというものを知りました。壁紙と
違って微妙なニュアンスなのでこの壁は日本一だと思います！
どんな色にもできるし、何よりも照明のあかりがやわらかく
広がって、おぞく雰囲気のある室内になります。それに、壁の
端がきれいに面取りされているのにも感動しました。
室内の印象がやさしくなるし、小さい子供がいるので
こういう手間を惜しまないところがとても気に入りました。
室内装飾も見とれてしまうほどステキで、絶対他には
ないと思います。

ココが
ステキ
です！

③ 家族の絆を大切に考えた暮らしやすいオープンな間取り ✨

福祉住環境コ-ディネ-タ-のテキストに、日本の住宅の問題点として次の6項目があげられています。

読み
にく
くて
スミ
マセ
ン
ぬ

- | | |
|-----|--|
| (1) | わが国の住宅設計は床面に段差ができてしまったため、生活動作に影響し、家庭内事故につながる |
| (2) | 従来の住宅は尺貫法で設計されているため巾幅が狭く、高齢者の生活には適さない場合が多い |
| (3) | 住宅面積が狭く、そのわりに部屋数を重視するために1室あたりの面積も狭い |
| (4) | 住宅が狭いため福祉用具の導入や介助が難しい |
| (5) | 床に座る習慣が高齢者の動作を困難としている
和式トイレや和式浴槽をまたいで入る動作などは困難や危険が伴う |
| (6) | 日本の住宅は夏に合わせてつくり、寒い時期には向いていないため
高齢者とくに循環器系などの内部障害を持つ高齢者には不適切 |

それに比べて安建さんは2×4の本物の輸入住宅なので、廊下や階段の巾幅も広い、オープンな間取りなのでドアも少なく、セントラルエアコンを入れることで家中どこにいても快適な温度で暮らせます。また、オープンな空間は家族の気配を感じやすく、コミュニケーションがとりやすいので家族の絆が深まること間違いなし! だと思います。高齢になった時のことを考えても、安建さんの家は本当にいいなと思いました。

④ スタッフの皆さんの人柄がいい ✨

押しつけがましいセールストークが一切なくて、「家を買って下さい」ではなく、「お客様の夢のマイホームをつくるお手伝いさせて下さい」という姿勢にホレました♡ どうしたらもっとステキな家になるのかを、少ないスタッフ全員で一生懸命に考えて下さって、そして、心をこめて丁寧な家づくりをされています。時間を惜しむのではなく、時間をかけることにこだわるところがステキです。また、安建ファミリーの皆さんのあたたかさにも、あぐく

心惹かれました。私たちがあんなにステキな安建ファミリーの一員になりたい！と強く思いました。

… 以上の理由から安建さんにホレこんだ私たちは、5年もの月日を経て、ついに今月夢のマイホームを手に入れることになったのである。

オープンハウスが終わった日に、スタッフの皆さんが帰られたあと、家族3人で新しい我が家を満喫しました。子供はオープンな室内を凜々しそうに走り回り、主人はカメラマンに変身して家中の写真を撮っていました。私はというと、リビングのソファに座って、そんな嬉しそうなお二人の姿を眺めているだけで、なんだかものすごく幸せな気持ちになりました。お金では買えない かけがえのない大切なものを手に入れることができたんだなあ実感しました。これからこういう時間が積み重なって家族の絆が強くなる、そんなステキな家になったことにすごく感謝しています。

ずっと私たちを応援し続けてくれた営業の澤さん、土地探しで何度も現地を見に行ってくれた杉浦さん、私たちのワガママをスバラシクにイセ上げて下さった設計の手塚先生と、現場監督の小鹿さん & インテリアコーディネーターの田代さん、そして日本のドライバーの夏目さん兄弟、そしてこんなにステキな安建さんをもめている社長さんとスタッフ一同様に、この場を借りてお礼を申し上げます。

本当に、本当に、ありがとうございました♡